



# 集団も個別も 結局最後は自立できるかどうか。

インタビューで紐解く 学習塾の在り方

## 教室長 澤田 恒一

2018年度学研塾講師検定において宮城県でただ一人

学力試験部門・生徒アンケート部門ともにS級の講師

青森県青森市出身。青森高校から東北大物理学部(数学系)卒

家庭教師・個別指導講師・集団指導講師として小・中・高校生指導に携わって18年。

中学生をナンバスクールへ、高校生を東北大學へと希望進路へ導いてきた。

また、応用心理カウンセラー資格をもち、カウンセリングマインドによる生徒対応にも定評あり。

### 自立型個別・集団の併設

一自立型個別指導 G-PAPILS と、集団型のあすなろ学院を併設している理由を教えてください。

その段階段階で有効な学習法は異なるからです。勉強面で自立しないままに集団授業に参加しても、ほとんど効果はありません。

一まずは勉強面での自立が必要だということでしょうか。

そうです。そこで、小学生～中2生の皆さんには自立型個別学習を受講していただき、「勉強のやり方」「学習計画の立て方」などを徹底的に叩き込みます。英語や数学といった個々の教科の勉強はもちろん大切ですけれど、それ以上に、今日何を勉強すべきか、何を優先すべきか、などを自分で判断できることが大切だからです。

一集団授業に参加できるのはいつからでしょうか。

中2までにしっかりと勉強面で自立できた人だけが、中3から集団授業に参加することができます。もう先生が手取り足取り教えてあげなくても、やるべきことがわかっている状態になっていますから、集団授業でよりレベルの高い内容に取り組めます。

保護者様にも「勉強面でいかに自立できるか」に意識を向けてほしいと思います。最後は誰でも自分ひとりで入試に立ち向かわなくてはなりません。いつまでも「先生、先生」ではいけないのです。先生からヒントをもらえば解ける、でも自力では解けない、ということ、ありませんか。

### 入り口は自立型個別学習

一自立型個別学習について教えてください。

子供が自転車に乗れるようになるまでの流れがありますよね。

- ①まず補助輪付きで……………対面個別
- ②補助輪を外して大人が支えて……自立型個別
- ③支えている手を離す……………集団

このようなイメージで私は捉えています。つまり、自立型個別とは、「生徒が自力でできるところは見守って、自力でできないところを支える」指導であるといえます。

一倒れないようにちゃんと見ているよ、と。

そうですそうです。問題が解けた解けないだけではなく、表情も見ます。集中力が低下してきた頃合に声を掛けたり。また、指導報告書により、塾でいったい何を勉強しているのだろう?という保護者様への「見える化」を図っています。これは対面個別指導では当たり前でしょうけれど、自立型で取り入れているところは少ないはずです。一人ひとりに書く手間が大変ですから(笑)

### 究極の自立学習が集団指導

一集団指導について教えてください。

学習塾と聞いたときのイメージ通りの授業です(笑)学校に比べて1クラスあたりの人数が少ないうえに、色々な中学校の生徒が受講しているため、塾生同士刺激になっているようです。集団指導に参加する場合、ある程度勉強面で自立できていることが求められます。

私は、集団指導の教室は切磋琢磨の場として位置づけていますから、「友達と一緒に勉強したいから」などという理由では受け入れをお断りする場合もあります。友達と一緒に受験するのはではなく、自分ひとりで受験するのです。そこは勘違いして欲しくないです。

一なかなか厳しそうですね。

厳しいというより、そういう姿勢でないと集団指導に所属しても成績は伸びませんから。

### 宿題について

一宿題はどのように出していますか。

集団側は学力レベルが近いこともあり一律の宿題を出します。個別側は一人ひとりの状況に合わせた宿題を出します。宿題も、ただ出してただやるだけでは意味がありませんから。どういう目的があってその宿題が出されているのか、出すときはそこまで説明して出しています。

### 模擬試験について

一模擬試験はどのように考えていますか。

いわば健康診断のようなもので、現状を知るために受けます。模試のあとには自己採点と解き直しノートの提出を義務付けています。模試も健康診断も受けただけでは効果がなく、「受けた後にどうするか」が大事ですから。

一ありがとうございました。